

令和 5 年度

第 1 回経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書（令和 4 年度分）

1. 評価機関名 当麻町商工会 第 1 回総務委員会
2. 開催日時 令和 5 年 5 月 3 0 日（火） 1 3 時 3 0 分～
3. 開催場所 ふれあい交流センター輝き 2 階研修室
4. 出席者
 - （1）外部有識者 当麻町監査委員 深谷 俊 文
当麻町まちづくり推進課 課長 川 本 充 宏
 - （2）商 工 会 総 務 委 員 長 長谷川 浩保
総務副委員長 小 西 和 洋
総務委員 小 林 善 則、澤 田 啓 二
〃 原 尚 司、中 島 明 幸
事務局長 橋 本 正 実 経営指導員 種 村 勇 人
補助員 伊 達 千 尋
5. 内 容

定刻となり、事務局が開会を宣し、長谷川総務委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

- （1）経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について
事務局は令和 3 年 3 月 2 6 日に認定を受けた経営発達支援計画（2 期目）及び認定計画において交付を受けて実施した、伴走型小規模事業者支援推進事業の概要説明を行い、以下の説明をした。

- （2）令和 4 年度事業報告について
事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会により P D C A を機能させていくことを説明した。
令和 4 年度における、経営発達支援事業の実施状況を「経営発達支援事業評価シート」【令和 4 年度版】により報告を行った。

I. 経営発達支援事業の内容

①地域経済動向の調査に関すること

事業計画策定の際に地域経済分析システム（R E S A S）を活用し、経済動向の分析や地域内の景気動向調査を行い、小規模事業者が必要とする情報を提供することによりブラッシュアップすることが出来た。

②経営状況の分析に関すること

ネット d e 記帳システムを利用している事業者に対して、システム内の分析グラフを活用して経営分析を実施し、うち 2 社は事業計画策定に繋げ

ることが出来た。

③事業計画策定支援に関すること

I Tを活用した事業計画策定セミナーにおいて、L I N E公式アカウントとY o u T u b eを活用した事業計画策定を研鑽することが出来、うち2社は事業計画策定に繋げることが出来た。

また、専門家を3回派遣し、小規模事業者の経営課題に応じた事業計画策定支援を実施し、販路開拓や補助事業の活用に繋げることが出来た。

④事業計画策定後の支援に関すること

事業計画策定事業者に対して、専門家と連携しながらフォローアップを行ったことにより、ニーズに対応した見直しや修正を実施した。

またフリーペーパーの活用による販路開拓事業者や展示会出展事業者に対してフォローアップを行い、売上増加に一定の効果を得ることが出来た。

⑤需要動向調査に関すること

フリーペーパー広告を活用し、付随してアンケート調査（需要動向調査）を実施し、アンケート結果を事業者にフィードバックし、需要動向を確認することが出来た。

また東京ギフトショーにおいて需要動向調査を実施し、首都圏における調査結果を事業者にフィードバックしたことにより、商品開発へステップアップにすることが出来た。

⑥新たな需要の開拓に資する支援に関すること

コロナ禍により、売上が落ち込んでいる飲食業や宿泊業等を選定し、「ライナー旭川」（地域フリーペーパー）を活用し、販路開拓支援事業を実施し付随して来店者へのアンケート調査（需要動向調査）を行ったところ、「初めて来店した顧客」は143名あり、新たな需要開拓に繋げることができた。

また展示会・商談会出展事業者を選定し、出展前支援→出展支援→出展後支援を実施し、ある一定の効果を得られたが、目標までは至らなかった。東京ギフトショーにおいては過去最多の来場者があり、次年度に向けての反省材料も多々あり、それを踏まえ令和5年度も意欲的に取組む予定である。

II. 地域経済の活性化に資する取組

イベント（とうま蟠龍まつり）は、11,000人の来場者があり、町内の事業所が出店しており個店の商品P R, 売上増加につながっているこ

とを報告した。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

①他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

金融機関との連携及び情報交換は、日本政策金融公庫 1 回、北洋銀行及び旭川信金と情報交換を行ったことを報告した。

近隣商工会との連携及び情報交換は、石北四町市場協議会の経営支援会議を 6 回開催、支援ノウハウの情報交換を行ったことを報告した。

専門家との連携及び情報交換は、石北四町市場協議会幹事商工会において専門家による支援力向上研修会に参加し、支援ノウハウや情報交換を行ったことを報告した。

②経営指導員等の資質向上等に関すること

経営指導員と記帳専任職員が北海道商工会連合会や中小企業大学校が開催する支援員向けの研修に参加、補助員が全道ブロック別補助員等研修会に参加したことを報告した。

職員会議は毎週金曜日の朝に行っていること、内容については情報の共有を行っていることを報告した。

③事業の評価及び見直しをするためのしくみに関すること

前年度は本日開催の評価委員会を令和 4 年 6 月 1 4 日に 1 回開催していることを報告した。

(3) 令和 5 年度事業計画及び予算について

事務局は別添資料に基づいて、令和 5 年度伴走型小規模事業者支援推進事業計画及び予算について説明をした。なお、事務局は事業実施が例年より 1 月程早くなること、事業計画及び予算は現在申請中（採択あり）であることを合わせて説明した。

(4) 事業の評価・見直し結果の内容について

評価内容について異議はなく承認されたが、川本委員より下記のとおり意見があった。

川本委員：セミナー開催について、出席者数が少ないので、事業者の掘り起こしや声掛けなどの努力が必要を感じます。

その他、委員長は意見を求めたが意見はなく、評価委員会を閉会した。

時に 1 4 時 1 1 分であった。